

平成29年1月18日 (水曜日)

「三方よし」の人間学 廣池千九郎の教え

⑬地位や仕事に執着しない

います。今回は『三方よし』の人間学より、事業継承に対する千九郎の考え方を紹介します。

事業継承の秘訣

長い間努力して獲得した地位や仕事に対して、多くの人たちは強い執着心を抱くものです。それによって名誉や利益がもたらされるのですから、なかなか手放すことができないのは、当然といえば当然といえるでしょう。

事業継承はよくバト
ンリレーにたとえられ、
その成否は企業の命運
を大きく左右するとい
われます。道経一体思想
の提唱者・廣池千九郎
(法学博士、1866〜
1938)は、企業の永
続は創業より守成が鍵
だとし、経営者自ら道
徳性を磨き、それを次代
につなぐ大切さを説いて

す。自分の欲望を抑えて
形式的にその立場を退
くという意味ではなく、
自分が任されてきた仕
事等を、タイミングを見
計らって適任者に継承
するということです。

その後はさらに自分
自身の生き方に磨きを
かけ、日々の善行によっ
て徳を積み、自己の品性
の完成を目指して努力
するのです。

このような考え方に
基づいて、誰もが適任者
に地位や仕事をタイミ
ングよく譲つていけば、
利益上の争いも、あるい
は政治上の争いもなく
なつて、自分自身もその
地位や仕事によって得
た以上の幸福感を味わ
えるに違いありません
(同書収載「地位や仕事
に執着しない」より)。

部下を妬まず

千九郎は、部下を持
つ立場の人に注意を促
すものとして、「材知に
任せて驥足を伸べしむ」
という格言を残してい
ます(「材知」は才能と

才能の意)。

上に立つ人は、部下の
才能を伸ばすことこそ
大切にすべきであり、そ
の才能を妬んではいけ
ない。たとえ抑圧しよう
としても、もともと力を
持つている人ならば、そ
れに負けまいと努力を
し、才能を伸ばすことにな
るだろうから無駄で
ある。また、そうするこ
とで、上に立つ人自身の
徳を落とすことになり
かねない、というので
す。

上に立つ人は、部下を
抑圧するなど浅はかな
考えにとらわれないこ
とです。それよりも道徳
的で才能のある人、篤学
の人、篤志の人を探し出
し、道徳的に教え導くこ
とでその人を幸福にす
るとともに、所属する組
織、ひいては社会に利益
をもたらすことを目指
すのです。

時間がかかるかもしれ
ませんが、こうした心
づもりで永続への礎を
築いていきたいもので
す。

(公益財団法人モラロ
ジー研究所広報部)



著者：廣池千九郎
編者：廣池幹堂
発行：PHP研究所
A6判上製(ポケット
サイズ判)。240頁
定価：1,000円+税